



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社平和
 コード番号 6412 URL <http://www.heiwanet.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 嶺井 勝也
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経営企画グループ (氏名) 高木 幹悦 TEL 03-3839-0701
 ゼネラルマネージャー
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	44,375	△17.0	12,291	△12.2	12,202	△22.4	7,111	△31.1
25年3月期第1四半期	53,437	153.7	13,999	62.1	15,719	41.1	10,323	38.9

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 7,970百万円 (△25.7%) 25年3月期第1四半期 10,733百万円 (43.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	83.07	82.85
25年3月期第1四半期	120.90	120.60

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	412,065	145,820	32.1	1,546.59
25年3月期	417,057	141,182	30.8	1,501.31

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 132,433百万円 25年3月期 128,467百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	30.00	—	40.00	70.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	91,700	△2.1	19,100	△10.5	18,000	△26.8	11,900	△29.3	139.07
通期	182,400	3.0	33,900	△1.6	31,700	△10.9	19,000	△5.6	222.04

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料3頁「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	99,809,060株	25年3月期	99,809,060株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	14,179,792株	25年3月期	14,238,692株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	85,606,397株	25年3月期1Q	85,390,825株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は当決算短信開示後速やかに当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益の改善や個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、景気回復への期待が高まりました。

遊技機業界におきましては、パチンコホールにおけるパチンコ機の稼働低迷が続いており、収益が期待できるパチスロ機へ需要がシフトする状況にあります。

ゴルフ業界におきましては、ゴルフ場来場者数は東日本大震災前の水準に順調に回復しつつあり、顧客単価も全体としては下げ止まり傾向ではあるものの、一部地域においては競合激化による下落傾向がみられました。

このような環境下、遊技機事業におきましては、ヒット機種の開発とブランド力の向上を図るために、市場のトレンド分析をいち早く遊技機開発に反映するための体制作りや、新規性のあるアイデアを搭載した遊技機の開発に取り組んでまいりました。

ゴルフ事業におきましては、顧客ロイヤルティの向上とゴルフ場オペレーションの効率化を目的に、新たなポイントプログラムの導入や、コールセンター機能の集約等の取り組みを進めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高44,375百万円（前年同期比17.0%減）、営業利益12,291百万円（前年同期比12.2%減）、経常利益12,202百万円（前年同期比22.4%減）、四半期純利益7,111百万円（前年同期比31.1%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(遊技機事業)

遊技機事業におきまして、パチンコ機は「戦国乙女3 乱」、「綱取物語 咲かせろ!大金星の花ッ!」を発売し、販売台数35千台（前年同期比49千台減）となりました。パチスロ機は「キャッツ・アイ コレクション奪還作戦」の発売に加え、前第4四半期に発売した「アントニオ猪木が伝説にするパチスロ機」の販売の一部が当期に計上されたことにより、販売台数37千台（前年同期比23千台増）となりました。

なお、当期におきましては、パチンコ機、パチスロ機ともに主力タイトルの販売を第3四半期以降に計画しております。

以上の結果、売上高23,197百万円（前年同期比28.7%減）、営業利益8,587百万円（前年同期比20.1%減）となりました。

(ゴルフ事業)

ゴルフ事業におきましては、平成25年4月より「Tポイント」を当社グループのゴルフ場の新たなポイントプログラムとして導入いたしました。さらに、同年5月より、ゴルフ場のプレー電話予約を一ヶ所に集約させる予約センター機能の導入を開始し、関東地区13箇所のゴルフ場を皮切りに、全国のゴルフ場への展開を進めるなど、お客様の利便性と満足度向上に尽力いたしました。

また、年初より一部ゴルフ場で開始した「補充会員募集」も好調に推移しており、会員制ゴルフ場の安定的な成長・発展に寄与しております。

以上の結果、売上高20,549百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益4,441百万円（前年同期比4.5%増）となりました。

(その他)

その他の事業として、情報配信サービス、サービスエリア内のレストラン及び売店の運営等を行い、売上高628百万円（前年同期比8.4%減）、営業利益25百万円（前年同期比47.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期における総資産は、現金及び預金・有価証券等が増加する一方、受取手形及び売掛金・原材料及び貯蔵品・投資有価証券の減少等により、前連結会計年度末に比べ4,992百万円減少し、412,065百万円となりました。

負債は、未払法人税等・長期借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べ9,630百万円減少し、266,244百万円となりました。

純資産は、四半期純利益の組み入れによる利益剰余金の増加7,111百万円等、剰余金の配当による減少3,422百万円等により前連結会計年度末より4,638百万円増加し、145,820百万円となりました。その結果、自己資本比率は32.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月14日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	74,549	76,125
受取手形及び売掛金	20,119	16,671
有価証券	21,003	22,061
商品及び製品	3,469	2,774
原材料及び貯蔵品	4,673	3,614
その他	14,653	12,657
貸倒引当金	△483	△478
流動資産合計	137,985	133,427
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	49,983	49,945
土地	184,363	184,141
その他（純額）	12,954	14,384
有形固定資産合計	247,300	248,471
無形固定資産		
投資その他の資産	4,253	4,255
投資有価証券	18,647	17,256
その他	9,455	9,234
貸倒引当金	△585	△579
投資その他の資産合計	27,517	25,911
固定資産合計	279,071	278,638
資産合計	417,057	412,065
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,743	14,448
短期借入金	3,000	3,000
1年内返済予定の長期借入金	18,635	18,478
1年内償還予定の社債	7,984	7,984
未払法人税等	6,118	2,842
引当金	1,798	504
その他	16,946	16,696
流動負債合計	69,227	63,955
固定負債		
長期借入金	142,611	137,286
退職給付引当金	4,954	4,961
その他	59,081	60,040
固定負債合計	206,647	202,289
負債合計	275,875	266,244

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,755	16,755
資本剰余金	53,097	53,105
利益剰余金	72,379	76,067
自己株式	△15,603	△15,538
株主資本合計	126,628	130,389
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,797	1,946
繰延ヘッジ損益	41	97
その他の包括利益累計額合計	1,838	2,044
新株予約権	108	94
少数株主持分	12,606	13,292
純資産合計	141,182	145,820
負債純資産合計	417,057	412,065

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	53,437	44,375
売上原価	32,296	24,179
売上総利益	21,141	20,195
販売費及び一般管理費	7,142	7,904
営業利益	13,999	12,291
営業外収益		
受取利息	92	78
受取配当金	76	198
負ののれん償却額	2,150	—
その他	207	203
営業外収益合計	2,527	480
営業外費用		
支払利息	634	521
投資事業組合運用損	5	1
減価償却費	20	18
その他	147	27
営業外費用合計	806	569
経常利益	15,719	12,202
特別利益		
固定資産売却益	26	152
受取補償金	190	1,371
その他	1	0
特別利益合計	218	1,524
特別損失		
固定資産除却損	11	47
減損損失	—	241
その他	0	4
特別損失合計	11	293
税金等調整前四半期純利益	15,927	13,434
法人税等	5,073	5,682
少数株主損益調整前四半期純利益	10,853	7,751
少数株主利益	529	640
四半期純利益	10,323	7,111
少数株主利益	529	640
少数株主損益調整前四半期純利益	10,853	7,751

(単位：百万円)

	前第1 四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1 四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△140	149
繰延ヘッジ損益	19	69
その他の包括利益合計	△120	219
四半期包括利益	10,733	7,970
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,199	7,316
少数株主に係る四半期包括利益	533	654

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	遊技機事業	ゴルフ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	32,541	20,209	52,751	686	53,437
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	71	71	10	82
計	32,541	20,281	52,822	697	53,520
セグメント利益	10,746	4,251	14,997	48	15,046

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報配信サービス、サービスエリア内のレストラン及び売店の運営等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	14,997
「その他」の区分の利益	48
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△1,047
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	13,999

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	遊技機事業	ゴルフ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,197	20,549	43,746	628	44,375
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	8	8	8	16
計	23,197	20,557	43,755	636	44,391
セグメント利益	8,587	4,441	13,029	25	13,054

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報配信サービス、サービスエリア内のレストラン及び売店の運営等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	13,029
「その他」の区分の利益	25
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△763
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	12,291

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ゴルフ事業」セグメントにおいて、ゴルフ場資産グループの回収可能価額を著しく低下させる変化が生じたことに伴い、当該ゴルフ場資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として、特別損失に計上いたしました。

なお、ゴルフ事業においては原則ゴルフ場別にグルーピングをしており、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において241百万円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。